



## 窓に映った街並み、筑後うきは

福岡県の南東部に位置する「うきは市」。その中心部が「筑後吉井」である。江戸時代、有馬藩の城下町・久留米と天領日田を結ぶ豊後街道の宿場町である。重厚な白壁の街並みが形成された背景には、蠟燭はじめ、酒、麵類、菜種油などの製造で財を築いたと伝えられる。「吉井銀」と呼ばれる豪商たちが誕生した所以である。明治二年（一八六九年）の大火後、火災に耐える白壁土蔵造りの家々が建造され、現在に至っている。ここが福岡県で最初に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたのは平成八年（一九九六年）である。

街並みに加え、現在は筑後川温泉、一の瀬焼の窯元、水田の原風景である棚田、日本名水百選などの観光名所が町おこしに大きく貢献しているようだ。今回お伝えする映像は、一の瀬焼などの骨董店ウィンドーに映った風景であり、そこに反映する街並みが美しい光景を見せてくれる。多くの旅人が街並みを歩く姿は、時代を反映させて心地よいものである。